

（１）背景

医師のキャリア支援（派遣調整）において、医師不足地域の常勤勤務が困難な診療科があり、非常勤による一定期間の勤務を履行することで常勤扱いとすることを検討することとなった。

（２）非常勤勤務に係る意見照会の実施について

「三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム改訂に係る説明会」において、非常勤勤務に係る意見照会を実施した（報告様式３）。

⇒（提案）１年間の常勤勤務に相当する期間を週１回×４年～５年とする。

（３）照会結果

別紙のとおり。

（多くの病院・診療科において妥当との意見があった）

（４）取扱い（案）

１年間の常勤勤務に相当する非常勤勤務の期間については、週１回×４年としてはどうか。

※ 週２回の場合は２年として換算。

※ 外来や検査などの日勤（午前又は午後でも可）、夜間の当直、日直を１回として換算。

報告様式 3

非常勤勤務に係る意見照会について

地域枠医師の非常勤勤務の取扱いについては、『三重大学医学部地域枠制度で入学した者の初期臨床研修終了後の研修・勤務のあり方について』（2019.3.19 三重大学地域医療連携推進ワーキングでの確認事項）において、次のとおりとされています。

（3、診療科事情に配慮した研修・勤務形態の提案）

（3）③グループのプログラム・診療科では、医師不足地域にある病院への1-2週に1回程度の診療応援を一定期間行うことで地域貢献を行ったとみなすことができるものとする。この場合、地域枠Bにあつては1-2年間の勤務に相当する期間、地域枠A/三重県地域医療枠にあつては1年間の勤務に相当する期間、非常勤としての勤務を求めるが、医学部卒業後9年目終了までの期間とする（県外病院勤務などの中断の期間を除く）。また、三重県が1年に1回程度、当該医師および受入病院から地域医療貢献の状況についての報告を受ける。

（4）医師不足地域にある病院での勤務期間について、初期臨床研修期間はここで定める医師不足地域にある病院での勤務期間に含めない。

各診療科間の基準を統一するため、**今回の調整では、1年間の常勤に相当する期間を、週1回（午前又は午後でも可）4～5年という目安で記載致しました。**

この件について、ご意見を頂戴したいと考えておりますので、下記の点についてご回答をお願いします。

記

1、常勤1年間に相当する勤務の内容について

- （1） 4～5年で妥当である
（2） その他（ 下記にご記載ください ）

ご回答欄

回答番号	ご意見欄

2、その他

キャリア形成プログラム作成に関してのご意見がありましたら、ご記載ください。

ご意見

報告様式3 非常勤勤務に係る意見照会について 【 概 要 】

資料2-2 続紙

三重大学医学部附属病院

診療科	1、常勤1年間に相当する勤務の内容について		2、その他 キャリア形成プログラム作成に関してのご意見がありましたら、 ご記載ください。
	(1) 4～5年で妥当である	(2) その他(下記にご記載ください)	
内科	○		
リウマチ・膠原病内科	○	地域枠Aを午前か午後を週1回、地域枠Bなら午前および午後の1日で週1回、4から5年で妥当と考える。	
外科	○	医師不足地域病院での1-2年の常勤であるべきだが、現実的に不可能なため、妥当な提案と思う。	
救急	○	異論無し。 他の科の多数意見に従う。	奨学金貸与医師をできるだけ三重県で働いてもらうように救急科として協力する。
総合診療科		規定通りの期間の義務を果たすような制度にしなければならないと考える。	
皮膚科	○		
産婦人科	○	妥当だと思われる。	
耳鼻咽喉科	○		特に無し
脳神経外科	○	ただし週2回勤務なら2年～2.5年	一般枠で入学した者にも医師不足地域での勤務義務を課すのは疑問。
臨床麻酔部		地域枠Bの2年間を非常勤だけで達成するには8～10年かかるため、常勤医師を派遣できない診療科は複数の医師に条件を達成させることが難しい。	
小児科	○		

報告様式3 非常勤勤務に係る意見照会について 【 概 要 】

資料2-2 続紙

三重大学医学部附属病院

診療科	1、常勤1年間に相当する勤務の内容について		2、その他 キャリア形成プログラム作成に関してのご意見がありましたら、 ご記載ください。
	(1) 4～5年で妥当である	(2) その他(下記にご記載ください)	
精神科	○	現実的に困難な可能性があるが、可能な限り(1)で協力を努める。	ローテーションの時期や組み方はバリエーションがあり、例示された勤務時期を○年目と固定する記載は困難。
整形外科	○	「外来従事が困難な場合は週1回程度の当直業務で代用する」ことも加えられたらいかがでしょうか。	
眼科	○		
泌尿器科	○		
放射線科	○	「三重大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム」では、2020年度より、医師不足地域にある名張市立病院にて常勤医師としての研修が実施可能となった。そのため、放射線科は現行の③グループから①グループへの変更をお願いしたい。	
病理	○		
臨床検査	-	(適応できない)	
	15	2	

報告様式3 非常勤勤務に係る意見照会について【概要】

資料2-2 続紙

県内病院

診療科	1、常勤1年間に相当する勤務の内容について		2、その他 キャリア形成プログラム作成に関してのご意見がありましたら、ご記載ください。
	(1) 4～5年で妥当である	(2) その他() 下記にご記載ください	
市立四日市病院 内科	○		
市立四日市病院 外科	○	専門研修終了後の4年が妥当	医師過疎地域での勤務は、一定期間必要であり、当然の義務と考えます。
市立四日市病院 麻酔科	○		麻酔科医は基幹病院に一定数配置することが有効な人材活用と考えます。各医療圏に緊急手術が多い基幹病院へ麻酔科医を集約し、24時間対応できる体制を構築することが重要です。麻酔科は初期対応を行うわけではなく、高次医療機関で複数人が勤務することが必要とされる診療科です。一人医長として、応援の得られにくい、いわゆる僻地病院に赴任することは麻酔科医師の有効活用とは言えず、安全管理上好ましいこととは考えかねます。三重県自体を麻酔科僻地として検討し、集約的人材配置をすることが肝要かと思います。

報告様式3 非常勤勤務に係る意見照会について【概要】

資料2-2 続紙

県内病院

診療科	1、常勤1年間に相当する勤務の内容について		2、その他 キャリア形成プログラム作成に関してのご意見がありましたら、ご記載ください。
	(1) 4～5年で妥当である	(2) その他() 下記にご記載ください	
伊勢赤十字病院 内科	○	当院の医師を確保した様にできる。	
伊勢赤十字病院 外科	○	週1回なら単純に考えて5年、4年とするなら回数の目安を設定するのが公平と考えます。	
伊勢赤十字病院 産婦人科		3年くらいで	
岡波総合病院 内科	○		
藤田医科大学 七栗記念病院 リハビリテーション科	○		
	7	1	